

メンタルヘルス一次予防における企業外労働衛生機関産業看護職の実践能力評価尺度の開発

研究分野: 公衆衛生看護、産業保健

キーワード: メンタルヘルス一次予防、企業外労働衛生機関産業看護職、尺度開発

貢献できるSDGsの区分:



看護栄養学部 看護学科 准教授 竹口 和江

教員情報URL <https://sun.ac.jp/researchinfo/k-take/>

研究概要

企業外労働衛生機関の産業看護職は、中小企業に向けたメンタルヘルス一次予防のための質の高い保健活動の提供が期待されている。

企業外労働衛生機関の産業看護職のメンタルヘルス不調の一次予防対策に関する活動へのインタビュー調査や全国の企業外労働衛生機関の産業看護職に対する質問紙調査により活動の実態や必要な能力を明らかにしてきた。

これらを踏まえ、4因子22項目の【事業場の方針やニーズに合わせた一連の保健活動を展開する能力】【事業場との連携を強化する能力】【所属機関の保健活動基盤を整備する能力】【労働者の支援ニーズを引き出す能力】から成る評価尺度を開発した。

実用化に向けては、今後さらなる一般可能性の検証が必要である。

産学連携の可能性(アピールポイント)

- ①企業外労働衛生機関の産業看護職が日々の活動を見直す自己評価ツールとして活用
- ②企業外労働衛生機関の産業看護職の現任教育として活用
- ③専門性の高いメンタルヘルスカを提供することで中小企業の労働衛生の増進につながる

外部との連携実績等

〈外部資金実績〉

2017年度 一般財団法人ヘルス・サイエンス・センター研究助成

関連情報

竹口和江:メンタルヘルス一次予防における企業外労働衛生機関産業看護職の実践能力評価尺度の開発, 産業衛生学雑誌, 64(2), 96-106, 2022.